

1. 日 時 : 令和8年6月26日 (金) 17:50 ~ 18:00
2. 場 所 : 特別会議室(管理棟3階)
3. 出席者 : 古宮委員長、藤本委員、山田委員、山口委員、沖中委員(web参加)、清水委員、常風委員、谷委員、阪口委員(web参加)、中原委員(web参加)、松浦委員(web参加)、島本委員(web参加)、藤田委員、金子委員(web参加)、坂口委員、掛水委員
4. 陪席者 : 総務企画課 研究推進室 早尻、猪谷、山本
5. 議 事 :
臨床研究等利益相反マネジメント委員会に諮った申請において、COIに問題が無いことが確認された。

迅速申請**(1) 眼内悪性リンパ腫に対するメソトレキセート硝子体注射****(21-120)****研究者: 眼科学 助教 西内 貴史**

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(2) 「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の追加調査:高知UC学童期血液・尿検査(コホート調査)**(30-167)****研究者: 環境医学 教授 菅沼 成文**

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(3) 「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の追加調査:高知UC学童期血液・尿検査(遺伝子解析)**(31-63)****研究者: 環境医学 教授 菅沼 成文**

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(4) JPVAS血管炎前向きコホート研究【RADDAR-J [22]】**(2021-58)****研究者: 臨床疫学 特任教授 佐田 憲映**

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(5) 多施設共同後方視的BPSD・神経画像データ収集研究(Japan multicenter study: Behavioral and psychological symptoms Integrated Research in Dementia-Retrospective Neuroimaging part (J-BIRD-RN))**(2021-92)****研究者: 神経精神科学 教授 数井 裕光**

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(6) 神経画像と血液バイオマーカーによる認知症の行動・心理症状の生物学的基盤の解明と非薬物療法の効果予測法確立のための多施設協同研究**(2021-168)****研究者: 神経精神科学 教授 数井 裕光**

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(7) 上部尿路癌における利尿剤併用造影PET/CT有用性の検討**(2022-63)****研究者: 泌尿器科学 助教 島本 力**

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(8) 医学生の入学初期における不適切な行動と学業成績の関連についての検討

(2022-88)

研究者: 医学教育創造センター 講師 黒江 崇史

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(9) 人工知能を用いた放射線治療の位置確認技術の向上

(2023-34)

研究者: 放射線腫瘍学 教授 木村 智樹

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(10) 脳神経内科患者レジストリー

(2023-52)

研究者: 脳神経内科学 講師 大崎 康史

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(11) 高齢者の術後せん妄発症率に関する地域特異性の検討

(2024-12)

研究者: 次世代医療創造センター 診療放射線技師 明間 陵

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(12) 下部消化管出血に対する血管塞栓術:リアルワールドデータを用いた包括的分析

(2024-80)

研究者: 放射線診断・IVR学 准教授 松本 知博

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(13) 認知症患者の物の置忘れ症状に対するスマートタグを用いた非薬物介入とBPSDとの関連

(2025-6)

研究者: 神経精神科学 その他 茶谷 佳宏

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(14) 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対するペムブロリズマブ・レンパチニブ併用療法の短期治療効果と安全性の検討

(2025-47)

研究者: 泌尿器科学 特任助教 山本 新九郎

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(15) 刺激伝導系のアミロイド沈着に関する剖検例調査

(2025-68)

研究者: 法医学 教授 古宮 淳一

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(16) 外来治療を継続する子育て中のAYA世代女性がんサバイバーが生活上の困難を乗り越えるプロセス

(2025-77)

研究者: 看護部 副部長 谷 めぐみ

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(17) 消化器がんに対して提示される治療法は医師間で一致するか

(2025-132)

研究者: 外科学(消化器外科学) 医員 前田 将宏

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(18) 3型色覚異常における OPN1SW 遺伝子異常の解析研究

(2025-182)

研究者: 病理学 客員講師 山本 由美子

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(19) 地域の特定保健指導におけるデジタルバイオマーカーを用いた心不全発症リスク分析手法の実用可能性評価

(2025-181)

研究者: デジタルヘルス学 特任准教授 廣瀬 智一

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(20) 地域の特定保健指導におけるデジタルバイオマーカーを用いた心不全発症リスク分析手法の実用可能性評価

(2025-181)

研究者: デジタルヘルス学 特任准教授 廣瀬 智一

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(21) 看護学生の臨地実習における無力感とその対処行動の実態

(2026-28)

研究者: 看護学部門 講師 高橋 美美

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(22) 初対面の相手への好印象を形成する要因

(2026-11)

研究者: 看護学部門 准教授 佐藤 美樹

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(23) 心不全患者のヘルスリテラシーに基づくセルフマネジメント教育看護実践モデルの構築

(2026-17)

研究者: 看護学部門 講師 下元 理恵

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(24) T2胆嚢癌に対する肝床切除の再考

(2026-10)

研究者: 外科学(消化器外科学) 助教 藤澤 和音

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(25) 高用量メトレキサート療法中の急性腎障害と腎機能予後との関連を検討する単施設後方視的観察研究

(2026-15)

研究者: 血液内科学 助教 小笠原 史也

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(26) 母子家庭における母親の役割遂行の支え―父親不在を乗り越える「力の根源」の探求

(2026-29)

研究者: 看護学部門 講師 吉村 澄佳

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(27) 看護学生におけるソーシャルサポートの期待と享受の乖離と学習意欲の関連

(2026-19)

研究者: 看護学部門 准教授 杉本 加代

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(28) MCI・認知症診断後の心理・社会的支援の場の構築 ― 診断後カフェ(ちょこっとカフェ)の実践と評価 ―

(2026-21)

研究者: 神経精神科学 教授 数井 裕光

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(29) 女子看護学生が捉える養護教諭の役割認識と保健室利用経験

(2026-20)

研究者: 看護学部門 講師 齋藤 美和

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(30) 緩和ケアチームにおける非がん患者への介入状況と今後の課題

(2026-22)

研究者: 看護部 副看護師長 竹村 沙布

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(31) 実習における高齢者との関わりで看護学生が感じる困難感の比較 -A大学看護学生を対象として-

(2026-12)

研究者: 看護学部門 教授 大坂 京子

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(32) 胸部大動脈瘤患者におけるフレイル指標と予後について

(2026-16)

研究者: 外科学(心臓血管外科学) 特任助教 齋藤 廉

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(33) ユマニチュードの手法を取り入れた高齢者体験シミュレーションが看護学生の実習におけるコミュニケーション実践と学びに与える影響

(2026-31)

研究者: 看護学部門 助教 西井 幸香

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(34) 大学生における結婚願望の有無と将来の高齢者介護に対する意識との関連

(2026-18)

研究者: 看護学部門 准教授 寺下 憲一郎

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(35) プリザーフロマイクロシャントの留置手技における前房内留置角度の検討

(2026-13)

研究者: 眼科学 学内講師 三浦 悠作

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(36) 統合看護実習後の看護学生における看護実践能力の現状と課題

(2026-27)

研究者: 看護学部門 講師 竹村 多加

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(37) SNS利用状況に着目した看護学生のルッキズム意識と患者イメージ評価との関連 ～体型の違いが患者評価に与える影響の検討～

(2026-26)

研究者: 看護学部門 准教授 寺下 憲一郎

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(38) JROSG24-2 小型肝細胞癌に対する体幹部定位放射線治療症例の前向き登録データを用いたレジストリ研究 A
Prospective REgistry study of Stereotactic body radioTherapy for hepatOcellular carcinoma 略称:PRESTO study

(2026-14)

研究者: 放射線腫瘍学 教授 木村 智樹

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(39) JROSG24-2 小型肝細胞癌に対する体幹部定位放射線治療症例の前向き登録データを用いたレジストリ研究 A
Prospective REgistry study of Stereotactic body radioTherapy for hepatOcellular carcinoma 略称:PRESTO study

(2026-14)

研究者: 放射線腫瘍学 教授 木村 智樹

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(40) 微量導入・無症状条件下緩徐増量による食物アレルギーに対する経口免疫療法の安全性と実用性

(2026-23)

研究者: 小児思春期医学 医員 萩野 紘平

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(41) 看護学生の学習における生成AIの認識と行動の関連

(2026-30)

研究者: 看護学部門 講師 下元 理恵

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(42) 看護学生における実習中の食生活の変化

(2026-24)

研究者: 看護学部門 准教授 笹岡 晴香

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(43) 高知県の女子大学生における災害時を想定した平時の生理用品備蓄行動と関連要因の検討

(2026-25)

研究者: 看護学部門 准教授 中野 葉子

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

不適合報告について

(1) 新規抗酸菌核酸検査試薬の臨床性能評価試験 (2025-140)

研究責任者: 検査部 部長 藤本 新平

古宮委員長から、関係資料に基づき、不適合の発生について説明が行われ、質疑・応答の後、審議を行い、研究を継続することが承認とされた。